

## 適合はなぜ重要か

—内部監査基準を満たすことは、真のアシュアランスを提供するための鍵

### 内部監査人協会（IIA）

訳： 堺 咲 子

内部監査財団（Internal Audit Foundation） 評議員  
インフィニティコンサルティング 代表  
CIA, CCSA, CFSA, CRMA, CPA (USA)

## 序

内部監査は、さまざまな目的、規模、複雑さおよび体制の組織体のために、組織体の内部の者または外部の者により、法的および文化的に多様な環境のもとで行われる。しかし、環境にかかわらず、内部監査は有効なガバナンスと組織体の成功の重要な要素である。

内部監査が組織体に最も役立ちステークホルダーの信頼を引き出すためには、リスク・ベースで客観的なアシュアランス、助言および洞察を一貫して正確に提供することを確実にするために、最高水準の倫理的能力と専門的能力で業務を行わなければならない。内部監査は、その資源水準、能力および体制が組織体の戦略に沿っている場合、および内部監査人協会（IIA）<sup>1</sup> が公表した『専門職的実施の国際フレームワーク（IPPF）』に従っている場合に、最も有効である。

## 内部監査人協会の見解

各環境下での内部監査の実務はさまざまな相違の影響を受ける場合があるが、IIAのIPPFは、内部監査人が最高水準の能力を獲得し業務を遂行するために設定されてきた。IPPFは、以下の必須のガイダンスで構成されている。

- 内部監査の専門職的実施の基本原則
- 内部監査の定義
- 倫理綱要
- 内部監査の専門職的実施の国際基準（『基準』）

これらは、厳格で正式なプロセスを通じて承認された推奨されるガイダンスによって補完されており、実施ガイダンスと補足的ガイダンスによって、『基準』の適用の方向性を実務家に示している。

最終的に内部監査は、アシュアランス、洞察および助言を提供することによって組織体の成功、好ましい変化およびイノベーションに貢献するときに、真の価値をもたらし、ス

<sup>1</sup> IIAグローバルアドボカシープラットフォーム

テークホルダーの信頼を得る。

I P P Fへの適合は、内部監査人および内部監査部門が責任を果たす上で不可欠である。I P P Fへの適合は、内部監査部門が専門職としての基準を定めた厳格な倫理綱要に基づいて業務を行っており、また、内部監査部門のスタッフが特定の教育基準と継続的専門能力開発制度によって訓練されている、という一定の信頼を提供する。

IIAの『基準』が意図するところは、次のとおりである。

- 『専門職的実施の国際フレームワーク』の必須の構成要素を厳守するよう導くこと。
- 広範な付加価値の高い内部監査業務を、実施し促進するためのフレームワークを提供すること。
- 組織体のプロセスや業務の向上を促すこと。
- 内部監査の実務を表す基本原則を明らかにすること。
- 内部監査の実施状況を評価するための基礎を確立すること。

内部監査部門は、I P P Fを採用する内部監査基本規程<sup>2</sup>の下で業務を行わなければならない。ステークホルダーは、まさにそのような内部監査基本規程に沿った業務を期待し受け入れるべきである。

継続的なレビューと改善への内部監査部門のコミットメントは、ステークホルダーの間で信用と信頼を獲得して維持するための重要な側面である。『基準』は、内部監査責任者が品質のアシユアランスと改善のプログラムを作成することを求めている。さらに、I P P Fには、5年に1度の外部による品質のアシユアランスレビューの義務付けが含まれている（属性基準1312：外部評価）。

外部品質レビューは、内部監査部門が『基準』に適合して業務を行っていることを確認

することによって、内部監査に対するステークホルダーの信頼を検証する。I P P Fおよび品質のアシユアランスレビュー義務を遵守する内部監査部門は、『内部監査の専門職的実施の国際基準』に適合していると認めることができる。

取締役会、最高経営者およびその他の統治機関は、内部監査機能が『基準』に適合していると認められるよう要求すべきである。

『基準』に適合していると認められその状態が維持されると、ステークホルダーは、国際基準に従って業務を行っている機能によって支援されていることが分かり、また、実施された業務および関連するアシユアランスと助言を信頼することができる。

**重要なポイント**

内部監査は、一貫性があり正確なアシユアランスの提供を確実にするために、最高水準の倫理的能力と専門的能力で業務を行わなければならない。

すべての内部監査専門家および内部監査部門は、IIAの『専門職的実施の国際フレームワーク（I P P F）』に従い適合すべきである。

内部監査は、I P P Fを採用する内部監査基本規程の下で業務を行わなければならない。ステークホルダーは、まさにそのような内部監査基本規程に沿った業務を期待し受け入れるべきである。

ステークホルダーは、内部監査部門が品質のアシユアランスと改善のプログラム（QAIP）を維持することを求め、さらに、定期的に外部の品質のアシユアランスレビューを受けることを要求すべきである。

<sup>2</sup> 実施ガイド1000

### 5つの質問

ステークホルダーは、組織体内の内部監査の状態を理解しなければならず、最高の専門的かつ倫理的な実施を要求しなければならない。

ステークホルダーが尋ねるべき5つの重要な質問は、次のとおりである。

1. 組織体には、IPPFを採用している内部監査基本規程および監査委員会基本規程があるか？
2. 内部監査部門は、IPPFに従い適合しているか？
3. 内部監査スタッフは、IIAの公認内部監査人（CIA）のような関連性のある専門資格を保持しているか？
4. 内部監査部門は、品質のアシユアランスと改善のプログラム（QAIP）を整備しているか？
5. 内部監査部門は、IPPFへの適合を示すために定期的な外部評価を受けているか？

## 適合しなければならない者とその理由

すべての内部監査専門家とすべての内部監査部門は、IPPFの必須の構成要素に従わなければならない。内部監査業務の実施と評価のための、原則主義の、国際的に適用可能な一連の要件として、『基準』は成功する内部監査の基盤である。

以下の者は、適合が必須である。

- IIA会員
- 公認内部監査人（CIA）
- IIAの『基準』を遵守することが義務付けられている国で業務を行う実務家

上記以外の実務家には『基準』に従う義務はないが、ステークホルダーは、内部監査部門が示す能力水準のアシユアランスとして適合を要求すべきである。

## 適合によって恩恵を得る者

当然のことながら、IPPFへの適合は内部監査業務の遂行を強化し、ひいては、組織体がより効果的にゴールを達成するためにガバナンスを改善し、リスクを管理し、コントロールを実施するのを支援する。恩恵を受ける者は、内部監査人、監査委員会、経営者、取締役会、株主および規制当局などである。

IPPFは、ステークホルダーが有効なガバナンス、リスクマネジメントおよびコントロールにおける内部監査の役割を理解するために、信頼できる最新のフレームワークを提供し、ステークホルダーが内部監査部門に対して持つべき期待を説明する。適合は、プロ意識を高め、内部監査専門職の継続的な発展を推進し助長し、さらに、内部監査が繁栄してより効果的に組織体の価値を高めて保全するための状況を整える。

IPPFへの適合は内部監査業務の提供を強化し、ひいては、組織体がより効果的にゴールを達成するためにガバナンスを改善し、リスクを管理し、コントロールを実施するのを支援する。恩恵を受ける者は、内部監査人、監査委員会、経営者、取締役会、株主および規制当局などである。

### 著作権

本著作物の著作権はIIAにある。無断複写・複製・転載を禁じる。